チャレンジ 吉田たいら

経済生活危機突破
緊急政策を発表

県政運営の基本方針

一、すべては県民の視点から。県民の力を信じ、県民と共に進む
一、命と雇用を守る政策に最優先で取り組む
一、ガラス張りの県政運営で徹底した無駄の排除

ちばニューディール政策10　雇用と需要を創る・安全と安心を守る

①救急医療コーディネートセンターとドクターヘリの24時間稼働で、"たらい回し"ゼロを実現

救急車の到着から5分以内に患者の受け入れ可能な医療施設を選定できる救急医療コーディネートセンターを設置。学校グラウンドなどを活用してドクターヘリの夜間離発着を可能にし、「助かる命は必ず助ける」体制を整えます。

②農林水産ハローワーク創設で、一次産業活性化。学校給食の「千産千消」倍増で、食育王国

意欲ある人々の転職をサポートします。千葉だからこそ手に入る地元の生鮮食料を学校給食で提供する比率を倍増し、「食育王国」にします。

③家庭・地域・学校が連携する地域センターの設置で、公立小中学校の教育力を強化

地域のみなさんが学校運営をサポートすることで、教師の雑務負担を軽減し、授業に専念できる環境を整備。教員OBや学生による補習授業も行い、学力向上を図ります。

④保育所55カ所新設で、千葉から待機児童をなくす

県内の待機児童は4500人。保育所55カ所を新設して千葉県から待機児童をなくします。働きたくても子育てで働けない親が働けるようになれば、5000人の雇用対策になります。

⑤特別養護老人ホームの拡充で、介護難民ストップ

県内には要介護度4、5の特養待機者が約6800人おり、家族の負担も大きくなっています。ベッド数を現状5割増の23000床に増やし、介護難民をなくします。老後の安心を確保するとともに、5000人規模の雇用を創出します。

⑥民間活力で4年制医大の創設と千葉大医学部定員増で、医師不足解消「がん総合対策」で、安心の医療

県内の医学部卒業者に県内就業を求めることで十分な医師を確保。日本初の医療連携パスを活用、放射線医学総合研究所など先端医療施設と拠点病院の連携を強化して、がん対策先進県にします。

⑦産業廃棄物を資源化するエコ産業の育成で、ゴミを宝に

現在大量に埋め立て処理されている産業廃棄物を新商品化・再資源化する先端技術を産官学の連携で確立し、新しい産業と雇用創出を実現します。

⑧ビジットちばクーポンで、ワーク&ライフバランスの実現

勤労者世帯のバカンス休暇取得を促進します。社員に一定期間連続した有給休暇を消化させる県内企業に対して、県内の宿泊施設・飲食店で利用できる家族一人当たり5000円のクーポン券を支給します。

⑨アクアライン無料化で、「千葉経済革命」

国の道路政策を転換すれば、アクアラインは無料になります。首都圏の東西が直結し、人口動態・物流の劇的変化で千葉の戦略的地位は飛躍的に向上。今までとはまったく異なる新しい千葉県が誕生します。

⑩いすみ鉄道存続で、「房総横断ゆめライン」実現へ

これまで社長として手掛けてきたいすみ鉄道の存続を、知事として全面バックアップします。他の鉄道との乗り入れを実現し、生活利便性の向上と観光振興による房総の地域活性化を進めます。